

# 記憶を呼び覚ます空間 A space of awakening

井関武彦

地球上に住むあらゆる生命体は  
その環境を理解し、適応する能力を備えている

世界中で猛威を奮う新種のウイルスさえも  
周囲の環境に応じて寄生する対象を見つけ  
その細胞内に住みつくようにして生存の道を見つけている

生き延びるために最適の環境を見つける  
もしくはより良い環境を作り出すという行為は  
生命体に何らかの形で植え付けられた本能なのだ

私たちの身体は否応にも周囲の環境に反応する  
光の明るさや色  
音の反響  
空気の淀みや風向きを敏感に感じ取り  
その体験を無意識の中に記録する

建築するという行為は  
能動的にその環境を作り出すだけでなく  
その周囲の生命体に働きかける  
根源的な影響力をもつ

空間自体は音も光も発しない静かな存在ではあるが  
私たちの意識を超えて本能に直接差し響く

時には人々がその存在に歓喜し  
時には癒しを与えられ  
時にはその場を忌み畏れるW

地球という環境のもとで進化を続けてきた生命体である限り  
私たちは自らを包む空間と場所の記憶から逃れることはできないのだろう

空間は人々の五感に訴え  
感情に働きかけ  
その記憶の中に深く根を張る

その忘れかけていた人間と空間の  
原初の関係を呼び覚ますことが  
建築にはできるのではないだろうか

5つの空間とそれにまつわる記憶に  
その手がかりを辿る



*Landesgartenschau (Weil am Rhein, Germany) © H el ene Binet*

予感の空間  
-Unforeseen-

視線の先に  
微かに光と影をたたえて心を離さない  
瞬く間に過去の記憶に連れ戻され  
また未来の物語を予感させる  
それは人の気持ちを不安と期待の間で揺さぶり  
不均一な地面の感触を足もとに伝える



*Guangzhou Opera House (Guangzhou, China) © Christian Richters*

架空の空間  
-Speculative-

今はまだ見ぬその場所は空想と現実が交錯する  
虚構と真実、目的と手段、原因と結果  
その間に解は存在せず二つは互いに共生する  
対象を直視するのではなく  
それとの新たな関係性を仮想の世界で再構築する  
それは硬直した社会の触媒となり  
自由と多様性を育む



*Phaeno Science Centre (Wolfsburg, Germany)*

巡り合いの空間  
-Serendipity-

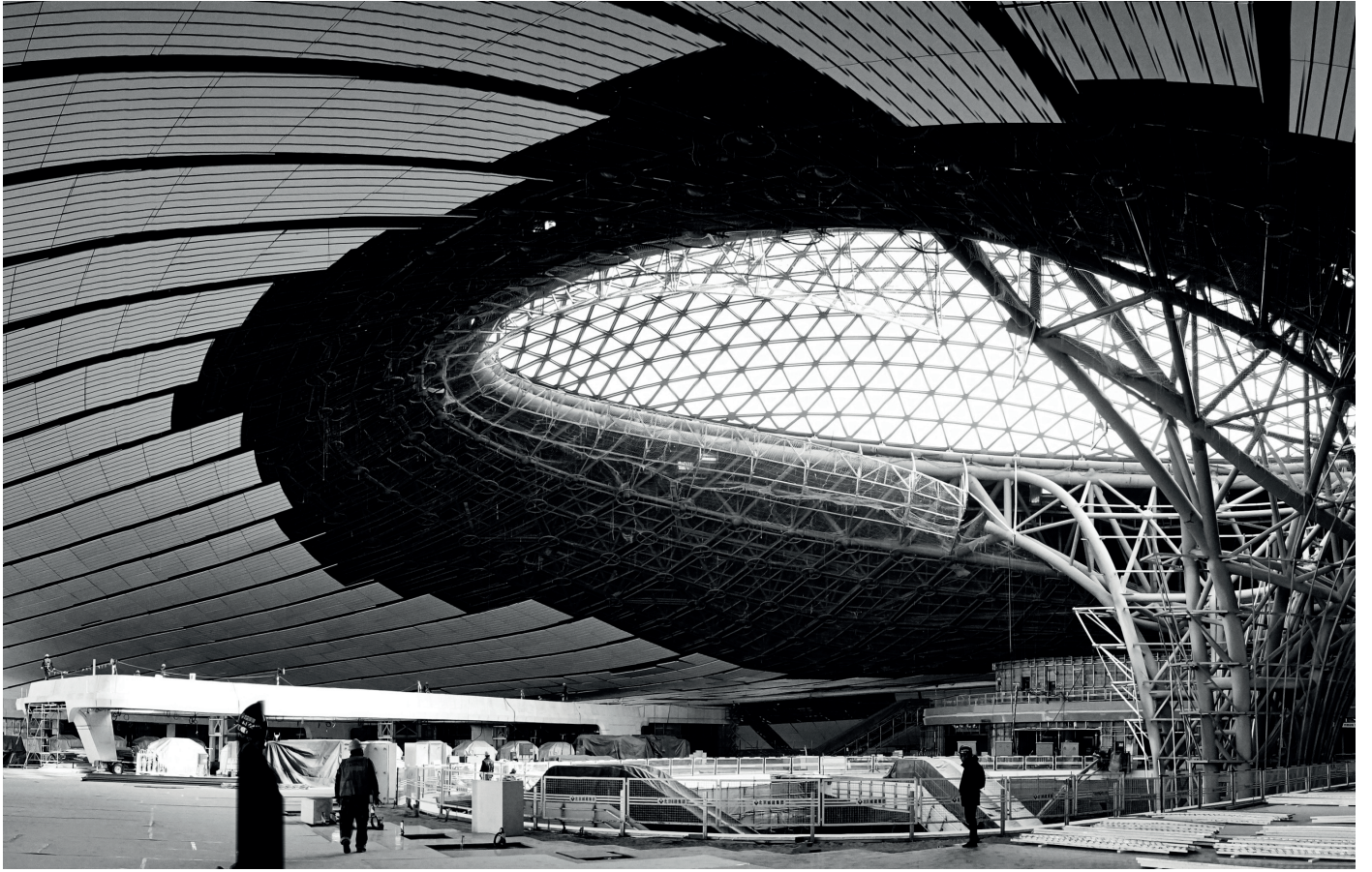
僕たちはつながっている  
という事を信じるられるのだろうか  
世界は一つなのか、バラバラなのか  
会えなくても  
触れられなくても  
そのつながりを感じられるような空間は  
あらゆる希望につながる



*Port House (Antwerp, Belgium)*

解放の空間  
*-Levitating-*

その瞬間は瑞々しく、そして儚い  
内部に燃えたぎる情熱が蒸気を発し  
空中に飛散する  
シルエットが風景と摩擦を起こし  
火花を散らして見るものを眩ませる  
目的も意味をも超えて  
全てを突き破り浮かび上がる



*Beijing Daxing International Airport (Beijing, China)*

原始の空間  
*-Primitive-*

薄皮の背後に現れるその獰猛な野生  
人間社会によって飼い慣らされ、漂白された空間とは対照にある  
何千年もの時間を越えた  
空間そのものが持つロジックに人間が対峙する  
時に威圧的で、時に幻惑的な場所  
あまりにも無垢で純粋なその立ち振る舞い  
我々の世界には知らん顔をしてそこに居座っている  
永遠と無限  
終わることのない始まりの場所